

2022年8月18日

## 横浜ゴム、インド新工場でオフハイウェイタイヤの生産を開始

横浜ゴム（株）は、農業機械用タイヤなどオフハイウェイタイヤ（OHT）の生産販売子会社である Yokohama Off-Highway Tires（ヨコハマ・オフハイウェイタイヤ＝YOHT）の生産能力増強のため、インドで建設を進めてきた Visakhapatnam（ヴィシャカパトナム）工場（アンドラプラデシュ州）で生産を開始しました。これに伴い、8月16日にアンドラプラデシュ州の Jagan Mohan Reddy（ジャガン・モハン・レディ）州首相ならびに 多賀政幸（たが・まさゆき）在チエンナイ日本国総領事を招いて開所式を開催しました。横浜ゴムグループからは横浜ゴム取締役常務執行役員 OHT 事業部長のニティン・マントリが参加しました。新工場は当初 2023 年第 1 四半期から開所する予定でしたが、世界的な需要増に迅速に対応するため前倒して生産を開始しました。

開所式で挨拶に立った OHT 事業部長のニティン・マントリは「品質と生産性において、OHT 業界最高水準となる新工場の完成に大変感謝しています。この生産能力の増強によって世界中のお客様への商品供給リードタイムを短縮していきます」と述べました。

YOHT は現在、インドに Dahej（ダヘジ）工場（グジャラート州）と Tirunelveli（ティルネルヴェリ）工場（タミル・ナドゥ州）を有し、主カブランドである ALLIANCE（アライアンス）、GALAXY（ギャラクシー）、PRIMEX（プライメクス）の農業機械、建設車両、産業車両、林業機械用タイヤなどを生産販売しています。YOHT は市場の成長率を大きく上回る成長を続けており、これに対応するためダヘジ工場の生産能力を 1.6 倍に引き上げる拡張に加え、2020 年第 3 四半期からヴィシャカパトナム工場の建設を進めてきました。新工場の年間生産能力は第 1 期が日量 69 トン（ゴム量）、第 2 期増強分を加えて日量 132 トン（ゴム量）を計画しており、第 2 期の生産開始は 2024 年第 1 四半期を予定しています。また、将来のさらなる能力増強も視野に入れています。

横浜ゴムは 2021 年度から 2023 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）のタイヤ生産財戦略において OHT 事業をさらなる成長ドライバーと位置づけています。このため「YOKOHAMA」「ALLIANCE」「GALAXY」「PRIMEX」「AICHI」のマルチブランドによる市場展開と顧客要望への対応力を強みに事業拡大を図るとともに、生産能力増強によりグローバル競争力の強化を加速しています。

### ヴィシャカパトナム工場の概要

会社名：ATC Tires AP Pvt. Ltd.

所在地：インド Atchutapuram（アチュタプラム）工業団地（アンドラプラデシュ州ヴィシャカパトナム）

事業内容：オフハイウェイタイヤの生産・販売

生產品目：「ALLIANCE」「GALAXY」「PRIMEX」ブランドタイヤ

生産能力：日量 132 トン（ゴム量）※第 2 期増強分を含む。当初計画から 9 トン増加。

敷地面積：約 39 万 m<sup>2</sup>



開所式で挨拶に立つアンドラプラデシュ州の  
ジャガン・モハン・レディ州首相



開所式で挨拶に立つ横浜ゴムのニティン・マントリ  
取締役常務執行役員 OHT 事業部長



ヴィシャカパトナム工場

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：山崎  
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570